

令和5年6月

町長日誌

先日、日南町名誉町民の安東良博様が逝去されました。突然の悲報に信じられないと疑いましたが…。

安東先生は、昨年末にお会いした時にもお元気そうで、庭先と玄関先での短い会話をさせていただきました。私が「お元気ですか」と声を掛けたら、安東先生は「元気じゃあない」とのお返事をされましたが、その声は大きく張りのある声で、まだまだお元気そうだと安心したことを記憶しています。

安東先生は年賀状でも毎年日南町についてコメントを書いてくださいました。今年の年賀状にはこう書かれていました。「月のウサギが杵と臼でついているのは餅ではなく不老不死の薬であるという話が『今昔物語』にあるそうです。日南町の「不老不死」とはSDGsのことです。その薬を求めてますますご活躍されることを祈念します」と。文学を愛し、故郷を愛し続けてこられた先生からの、最後の年賀状となりました。安東先生が、一人ひとり受け取る方を想像しながら書かれたであろう年賀状。受け取られた方は「ありがとうございます。頑張ります」と思われたのではないのでしょうか。

謹んでお悔やみ申し上げます。

令和5年6月26日 日南町長 中村英明